

野外芸術文化ゾーン 計画について

質問 年間約六億円もの電源三法交付金を財源とする野外芸術文化ゾーン計画を見直し、あるいは凍結を検討し、今や当市の最重要課題であり、住民が真に望む市立中央病院の改築と経営健全化達成に全力を挙げて取り組む考えはないか伺いたい。

答弁 野外芸術文化ゾーンは、日本の道百選に選ばれた官庁街通りに芸術文化の持つ創造性を取り入れ、魅力ある場所をつくり出すことで地域振興や活性化を視野に入れたまちづくりを進めていこうというものであり、官庁街通りに新たな付加価値をつけることで人を引きつけ、人が集まることにより、誘発される賑わいにより、まちの活性化が期待できると考える。また、平成二十二年度完成予定の東北新幹線青森延伸など新たな観光ルートとしての位置づけも大切である。優れた芸術文化の拠点ができることで芸術文化のまちとしてのブランドが確立され、そして、芸術文化の振興は、人を成長させる教育の振興

に結びつくものと考えられる。以上のことから、本計画は、計画期間内に完成させ、効果を発揮させることが必要と考える。

教育委員会所管の マイクロバスについて

質問 校外学習等によく利用している教育委員会所管のマイクロバスが来年度から廃止されることになっているが、バスを借り上げるということになれば小規模校にとつて、大規模校に比べ一人当たりの負担が非常に高くなることから、マイクロバスは残すべきと思うが、どのように考えるか伺いたい。

答弁 バスの老朽化による廃止後の対応については、現在、市で保有する既存の車両での運行を来年度に向けて調整中であり、教育活動の充実に資するよう有効活用を努めていきたいと考えている。



教育委員会所管の
マイクロバス

西小学校の改築について

質問 深持小学校の改築事業は平成十八年度で完成する予定であり、これまで学校建築の最終年度に次の学校建築のための実施計画が行われていたと思うが、なぜ、今年度西小学校実施設計費の予算が計上されなかったのか、また、同小の改築時期はいつ頃になるのか伺いたい。

答弁 緊急に実施しなければならぬ学校施設におけるアスベスト除去工事が生じたために予算計上しなかった。

西小学校の改築時期については、明確にできないが、できるだけ早い時期に着手したいと考えている。

十和田湖畔の 住所変更について

質問 十和田湖畔の住所変更について、現在の事務進捗状況、変更後の名称、変更の時期を伺いたい。

答弁 環境省並びに三八上北森林管理署との協議を終え、現在は法務局の登記簿謄本と地籍図との確認作業などを行っているところであり、この中で、現地確認

不能地の処理方法や国有林の中に点在する飛び地的な場所の処理方法並びに休屋宇樽部、子ノ口の三地区に区画する場合の字界の処理方法などに課題が生じており、これらの解決方法について県や法務局と協議しているところである。

変更後の小字名については、各地区をそれぞれ大字奥瀬字十和田湖畔休屋、字十和田湖畔宇樽部、字十和田湖畔子ノ口とする方向で検討している。

時期については、まだ確認作業や調整作業に多少時間がかかることが予想されるため、明確な実施時期は確定できないが、できるだけ早い時期に実現できるように事務を進めていきたい。

夏の全国相撲大会について

質問 夏まつりのイベントである高校、大学相撲大会を危惧する声もあるが、どのように考えるか伺いたい。

答弁 選抜高校相撲大会は五十五回、全日本選抜大学相撲大会は四十一回と続く、長い歴史と伝統を誇る大会である。両大会は市民を初め県内外の多くの相撲ファンが毎年楽しみにしている全国に誇れる大会でもある。

市としても、両大会は地域スポーツの振興、また観光振興となる夏の一大イベントとして捉えている。今後関係機関や関係団体の協力を得ながら、一層充実した大会となるよう努めていきたいと考える。



今年の選抜高校相撲大会から

有料広告について

質問 市の発行物に対して有料広告事業を開始し、民間から広く財源を募ろうとする考えはないか伺いたい。

答弁 有料広告事業は、継続的に利用者を確保できるのであれば市の歳入を増やす一つの方法として期待できるものと考えられる。しかし、実施するためには可能性のある広告媒体としての広報紙やホームページ、また公衆施設への提示など、いろいろな角度からの検討が必要となってくる。例えば、

広報紙の場合、広告を掲載することで市民への情報を掲載するスペースが削減されたり、あるいは広告を掲載するために紙面を増加した場合の費用対効果など多くの課題も考えられることから、今後、実施に取り組むための調査研究をしていきたい。

フィルム コミッションに ついて

質問 フィルムコミッションを設立した場合、まちの活性化と観光にどのような効果があるかと考えるか伺いたい。

答弁 設立した場合、映画やテレビの撮影での制作者の手間が省かれることにより、ロケ地に選ばれる機会が多くなると考える。また、十和田湖や奥入瀬渓流など地域を素材とした作品が放映されることにより知名度が高まり、集客力の向上が期待される。また、撮影スタッフ等の宿泊等関連業務の発生により経済効果も見込まれる。

フィルムコミッションの設立は市のPRになるとともに、観光振興にも大きな効果があると考えている。